

資質	レベル5（最高レベル）	レベル4（卒業までに到達したい）	レベル3（Principia IIで到達したい）	レベル2（Principia Iで到達したい）	レベル1（入学段階）
科学への理解関心	文明が科学技術とともに発展してきた事実を理解し、最先端の科学技術に興味を持ち、これからの科学技術の発展をけん引する気概を持って、より良い社会を作るために自分自身がどのように取り組めばよいか具体的に考えることができる。	文明が科学技術とともに発展してきた事実を理解し、最先端の科学技術に興味を持ち、より良い社会を作るために自分自身がどのように取り組めばよいか考えることができる。	最先端の科学技術や研究に興味をもち、社会活動とどのように関係するか考えることができる。	最先端の科学技術や研究に興味をもち、日常生活とどのように関係するか考えることができる。	最先端の科学技術に興味をもっている。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 課題に直面した時に、先行研究を参考にする習慣が身についている。 <input type="checkbox"/> よりよい社会を作るために、自分自身の考えを世界に発信したり行動に移したりすることができる。	<input type="checkbox"/> 科学技術の意義を理解している。 <input type="checkbox"/> （研究計画書）研究の意義・目的が明確である。	<input type="checkbox"/> 日常的にニュースや校内の掲示物などから科学技術に関する情報を得ようとしている。 <input type="checkbox"/> （夏休み課題）課題に対して十分な考察がされている。 <input type="checkbox"/> （研究計画書）研究課題決定の背景・動機が明確である。	<input type="checkbox"/> 未知に挑もうとする姿勢をもっている。
論理的思考力	全ての情報に対して、客観的・批判的立場に立って俯瞰的にとらえるとともに、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てて考えることができ、国内外を問わず多様な価値観が実在する中でだれにでもわかりやすく伝えることができる汎用的な思考ができる。	得られた情報を鵜呑みにすることなく、客観的・批判的立場に立って俯瞰的にとらえるとともに、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てて考えることができ、他者にわかりやすく伝えることができる。	得られた情報を、客観的・批判的立場に立って俯瞰的にとらえるとともに、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てて考えることができ、他者に伝えることができる。	得られた情報を客観的・批判的立場に立って俯瞰的にとらえ、体系的に整理し、他者に伝えることができる。	得られた情報をもとに、自分の考えをもち、他者に伝えることができる。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 得られた情報について、まず、その真偽や背景を考えている。 <input type="checkbox"/> （論文）仮説から結論までの筋道に矛盾や飛躍がない。	<input type="checkbox"/> 得られた情報について仮説をもとに客観的に分析し、結論に近づくことができる。 <input type="checkbox"/> 課題や問題点を正しく把握することができる。 <input type="checkbox"/> （ポスター）仮説から結論までの筋道に矛盾や飛躍がない。	<input type="checkbox"/> 知りたい情報について、インターネットや書籍、論文など複数の情報源から調べることができる。 <input type="checkbox"/> 起承転結がはっきりした表現で他者に伝えることができる。 <input type="checkbox"/> （研究計画書）研究テーマを焦点化し、研究課題を設定するとともに、適当な仮説を立てている。 <input type="checkbox"/> （ラポノート）活動で得られた情報を客観的に分析し、次の活動に活かそうとしている。	<input type="checkbox"/> 知りたい情報について、インターネットや書籍などを用いて調べることができる。 <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、自分なりの意見を述べることができる。
国際的な視野	環境問題や経済格差、紛争などの国境を越えた課題について考え国際的な視野で科学的に物事をとらえ、解決に向けて具体的な行動ができるとともに、英語を用いて様々な背景を持つ国籍・人種の人々とコミュニケーションを図り協働して活動することができる。	環境問題や経済格差、紛争などの国境を越えた課題について真摯に向き合い、英語を用いて様々な背景を持つ国籍・人種の人々とコミュニケーションを図ることができる。	環境問題や経済格差、紛争などの国境を越えた課題について、自分と同じ考えをもつ他者と英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	日常生活のさまざまな問題について、自分と同じ考えをもつ他者と英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	自己の立場や考えを、英語を用いて表現できる。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 環境問題や経済格差、紛争などの国境を越えた課題について、自らの意見を英語で表現できる。 <input type="checkbox"/> 他者の意見を尊重しつつ、自らの意見を述べるることができる。	<input type="checkbox"/> 環境問題や経済格差、紛争などの国境を越えた課題のうち、自らの興味関心と一致するものについて考えを持つことができる。 <input type="checkbox"/> 上記のことを英語で表現するとともに、他者の意見にコメントできる。	<input type="checkbox"/> 日常生活で不自由を感じることに意識を向けている。 <input type="checkbox"/> 上記のことを英語で表現するとともに、他者の意見に同意できる。	<input type="checkbox"/> 自分自身の所属や趣味などの簡単な自己紹介を英語でできる。
情報収集・処理能力	高度情報化社会に対応し適切な方法で情報を収集・分析し、その真偽を根拠をもって見抜くとともに、深い知識と適切な技能を活用し他者にわかりやすいように処理してプレゼンテーションや論文などで積極的に世界へ発信することができる。	適切な方法で情報を収集し、その真偽を根拠をもって見抜くとともに、他者にわかりやすいように処理してプレゼンテーションや論文などで表現できる。	適切な方法で情報を収集し、その真偽を根拠をもって見抜くとともに、他者にわかりやすいように処理してプレゼンテーションで表現できる。	適切な方法で情報を収集し、他者にわかりやすいように処理して表現できる。	書籍やインターネットなどを用いて情報を収集できる。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 得られた情報の真偽を、根拠をもって説明できる。 <input type="checkbox"/> （論文）本文が2段組みの論文を規定量作成している。 <input type="checkbox"/> （論文）引用文を本文と区別して表記している。 <input type="checkbox"/> （論文）図や表に適切なタイトルをつけている。	<input type="checkbox"/> 複数の情報源にアクセスし、得られた情報の真偽を判断できる。 <input type="checkbox"/> （プレゼンテーション）必要事項を簡潔にまとめたスライドを作成できる。 <input type="checkbox"/> （プレゼンテーション）配色や文字の大きさに配慮したスライドを作成できる。	<input type="checkbox"/> 論文やインターネットなど、得ようとしている情報に対して適切な方法でアクセスすることができる。 <input type="checkbox"/> 表計算ソフトを用いて、データの種類を統一した表を作ることができる。 <input type="checkbox"/> （ポスター）グラフや表を用いて、見やすい資料作りをしている。	<input type="checkbox"/> 書籍の目次や索引を活用できる。 <input type="checkbox"/> インターネットで検索サービスを活用できる。 <input type="checkbox"/> 人の考え(意見)を聞くことができる。
科学を応用する力	社会と科学のかかわりについて十分理解するとともに、研究倫理を大切にしながら、先行研究や基礎理論をもとに、課題の本質を見極めながら創造力と情熱をもってその解決に取り組むことができる。	研究倫理を大切にしながら、先行研究や基礎理論をもとに、新たな課題を発見して創造力をもってその解決に取り組むことができる。	研究倫理を大切にしながら、先行研究や基礎理論をもとに、新たな課題を発見してその解決に取り組むことができる。	研究倫理を大切にしながら、先行研究や基礎理論をもとに、自らの研究課題を設定できる。	研究倫理を理解している。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 先行研究や基礎理論をもとに、独自性のある課題を見いだせる。 <input type="checkbox"/> 課題の解決に向けて筋道を立てて取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> 先行研究や基礎理論をもとに、いくつかの工夫を組み合わせて新たなアイデアを考案できる。	<input type="checkbox"/> 既存の技術や製品を自己のニーズに合わせて活用できる。	<input type="checkbox"/> 「改ざん」「捏造」「盗用」が研究不正であることを理解している。
主体性	情報化やグローバル化が急速に進む社会の中で、自ら積極的に課題を発見し、その解決に向けて自ら判断し、リーダーとして未知に挑もうとする強い意思をもって社会で主体的・協働的に活躍できる。	日常生活の中で自ら課題を発見し、その解決に向けて自ら判断し、強い意思をもって取り組むことができる。	日常生活の中で自ら課題を発見し、その解決に向けた手法を考えて取り組むことができる。	提示されたテーマの中から課題を発見し、その解決に向けた手法を考えて取り組むことができる。	提示された複数の課題から興味をもったものを選択し、その解決に向けて取り組むことができる。
(具体的な行動指針)		<input type="checkbox"/> 日常生活で見出した課題について、強い意志をもって解決できる。	<input type="checkbox"/> 日常生活で感じる些細な疑問や不便などから課題を見出せる。 <input type="checkbox"/> 見出した課題について、解決に向けた手法を考えて取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> 探究活動のサイクル「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を繰り返して、課題解決に向けて取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> 先行研究などで示された手順に従って、課題の解決に向けて取り組むことができる。